標準貨物自動車運送約款

平成二十一年十一月二十日 運輸省告示第五百七十五号
最終改正 令和六年三月二十一日 国土交通省告示第二百十号

目次

- 第一章 総則 (第一条～第一条)
- 第二章 運送業務等 (第二条～第五十五条)
- 第三章 運送の申込み及び引受け (第六～第六十七條)
- 第四章 積付け (第六十八條)
- 第五章 貨物の受取及び引渡し (第六十九～第七十六條)
- 第六章 指図 (第七十七～第七十八條)
- 第七章 事故 (第七十九～第八十條)
- 第八章 運賃、料金等 (第八十一～第八十八條)
- 第九章 責任 (第八十九～第九十條)
- 第十章 連絡運輸 (第九十一～第九十二條)
- 第十一章 積込み又は取卸し等 (第九十三～第九十四條)

第一章 総則

第一節 貨物の種類

- 第一条 当店は、一般貨物自動車運送事業を行います。
- 第二条 当店は、前項の事業に附帯する事業を行います。
- 第三条 当店は、特別積合せ貨物運送を行います。
- 第四条 当店は、貨物自動車利用運送を行います。

第二節 (適用範囲)

- 第一条 当店の経営する一般貨物自動車運送事業に関する運送契約は、この運送約款の定めるところにより、この運送約款に定めのない事項については、法令又は一般慣習によりする。
- 第二条 前項の規定にかかわらず、法令に反しない範囲で、特約の申込みに応じることがあります。

第二章 運送業務等

第一節 受付日時

- 第三条 当店は、受付日時を定め、店頭に掲示し、又は当店のウェブサイトに掲載します。
- 第四条 前項の受付日時を変更する場合には、あらかじめ店頭に掲示し、又は当店のウェブサイトに掲載します。

第二節 (運送の順序)

- 第四条 当店は、運送の申込みを受けた順序により、貨物の運送を行います。ただし、腐敗又は変質しやすい貨物を運送する場合その他正当な事由がある場合は、この限りではありません。

第三節 (引渡期間)

- 第五条 当店の貨物の引渡期間は、次の日数を合算した期間とします。
- 一 発送期間 運賃及び料金の計算の基礎となる輸送距離百七十里メートルにつき一日。ただし、一日未満の端数は一日とし。
- 二 集積期間 集積及び配送をする場合にあっては各一日
- 三 前項の規定による引渡期間の満了後、貨物の引渡しがあったときは、これをもち延着とします。

第四節 (運送の申込み)

- 第六条 当店は、貨物の運送を申込み者（以下「申込者」という。）は、次の事項を記載した運送申込書を提出しなければなりません。
- 一 申込者の氏名又は商号並びに住所及び電話番号
- 二 貨物の品名、品質及び重量又は容積並びにその荷造りの種類及び個数
- 三 集積先及び配送先又は発送及び到着の希望日時
- 四 集積先及び配送先又は発送地及び到着地（開地、アパートその他高層建築物にあっては、その名称及び電話番号を含む。）
- 五 運賃の積別
- 六 運賃、料金 第十七条第二項に規定する利用運送手数料、第二十四条に規定する待機時間料、第二十一条に規定する積込料又は取卸料及び第六十一条第一項に規定する積込料等（以下「運賃、料金等」という。）の支払方法
- 七 申込者の氏名又は商号並びに住所及び電話番号
- 八 高価値品については、貨物の種類及び価額
- 九 第六十一条に規定する貨物の積込み又は取卸しを委託するときは、その旨
- 十 第六十一条第一項に規定する積込業務を委託するときは、その旨
- 十一 運送保険に付するときは、次に掲げる事項を記載した運送引受書を交付し、その内容
- 十二 特約事項があるときは、その内容
- 十三 本約款の内容について承諾する旨
- 十四 その他その貨物の運送に關し必要な事項

- 二 前項において、当店が電磁的方法（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法）であつて、当店で定めるものをいう。以下同じ。）による運送の申込み方法を定めているときは、前項の運送申込書の提出に代えて、当該運送申込書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができる。この場合において、申込者は、当該運送申込書を提出したものとみなす。
- 三 前項において、申込者は、当該運送申込書を提出したものとみなす。

第五節 (運送の引受け)

- 第七条 当店は、前条第一項の運送申込書の提出があつた場合において、申込者との協議により、当該運送を引き受けるとするときは、次に掲げる事項を記載した運送引受書を交付し、その内容
- 一 集積先及び配送先又は発送及び到着の予定日時
- 二 運賃、料金等の額
- 三 運賃、料金をあらかじめ申込者の承諾を得て、前項の運送引受書の交付に代えて、当該運送引受書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することがあります。この場合において、当店は、当該運送引受書を交付したものとみなす。
- 四 貨物の種類及び性質の確認

第六節 (貨物の種類及び性質の確認)

- 第八条 当店は、貨物の運送の申込みがあつたときは、その貨物の種類及び性質を通知することを申込者に求めることができる。
- 一 当店は、前項の場合において、貨物の種類及び性質につき申込者が通知したときに疑いがあるときは、申込者の同意を得て、その立会いの上で、これを点検することがあります。
- 二 当店は、前項の規定により点検をした場合において、貨物の種類及び性質が申込者の通知したところと異なるいときは、これにより生じた損害の賠償をします。
- 三 当店は、第二項の規定により点検をした場合において、貨物の種類及び性質が申込者の通知したところと異なるときは、申込者に点検に要した費用を負担していただきます。

第七節 (引受け拒絶)

- 第九条 当店は、次の各号の一に該当する場合には、運送の引受けを拒絶することがあります。
- 一 当該運送の申込みが、この運送約款によらぬものであるとき。
- 二 申込者が、前条第一項の規定による通知をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないとき。
- 三 当該運送に適する設備がないとき。
- 四 当該運送に關し、申込者から特別の負担を求められたとき。
- 五 当該運送が、法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき。
- 六 天災その他やむを得ない事由があるとき。

第八節 (高価値品及び貴重品)

- 第十条 この運送約款において高価値品とは、次に掲げるものをいいます。
- 一 貨幣、紙幣、銀行券、印紙、郵便切手及び公債証券、株券、債券、商品券その他の有価証券並びに金銀、白金その他の貴金属、イリジウム、タンクステンその他の稀貴金属、金剛石、紅玉、緑柱石、琥珀、真珠その他の宝玉石、象牙、べつ甲、珊瑚及び各その製品
- 二 美術品及び骨董品
- 三 容器及び荷造りを加え、キログラム当たりの価格が一万円を超える貨物（動物を除く。）
- 四 前項第二号のキログラム当たりの価格は、一荷造りごとに、これをします。

- 三 この運送約款において貴重品とは、第一項第一号及び第二号に掲げるものをいいます。

(運送の扱別等不明な場合)

- 第十一条 当店は、荷送人が運送の申込みをするに当たり、運送の扱別等その他その貨物の運送に關し必要な事項を明示しなかつた場合は、荷送人にとつて最も有利と認められるところにより、当該貨物の運送をします。

(荷造り)

- 第十二条 荷送人は、貨物の性質、重量、容積、運送距離及び運送の扱別等に応じて、運送に適するよう荷造りをしなければなりません。
- 一 当店は、貨物の荷造りが十分でないときは、必要な荷造りを要求します。
- 二 当店は、荷造りが十分でない貨物であつても、他の貨物に対し損害を及ぼさない認め、かつ、荷送人が書面により荷造りの不備による損害を負担することを承諾したときは、その運送を引き受けすることがあります。

(外装表示)

- 第十三条 荷送人は、貨物の外装に次の事項を見やすいように表示しなければなりません。ただし、当店が必要がないと認めたる事項については、この限りではありません。
- 一 荷送人及び荷受人の氏名又は商号及び住所
- 二 品名
- 三 個数
- 四 その他運送の取扱いに必要な事項

(動物等の運送)

- 第十四条 当店は、動物その他特殊な管理を要する貨物の運送を引き受けるときは、荷送人又は荷受人に対し次に掲げることを請求することがあります。
- 一 当店において、集積、持込み又は受取の日時を指定すること。
- 二 当該貨物の運送につき、付添人を付すること。

(危険品についての特別)

- 第十五条 荷送人は、爆発、発火その他運送上の危険を生ずるおそれのある貨物については、その旨を当該貨物の外部の見やすい箇所（明記すること）に、あらかじめ、荷送人に当該貨物の品名、性質その他当該貨物の安全な運送に必要な情報を当店に通知しなければなりません。

(連絡運輸)

- 第十六条 当店は、荷送人の利益を害しない限り、引き受けた貨物を他の運送機関と連絡して運送することがあります。

(利用運送及び利用運送手数料)

- 第十七条 当店は、荷送人の利益を害しない限り、引き受けた貨物を他の貨物自動車運送事業者が行う運送を利用して運送することがあります。この場合において、当店は、あらかじめ、荷送人に当該貨物自動車運送事業者の商号又は名称等を通知します。
- 二 当店は、前項の利用運送を行うときは、第三十二条第一項の運賃料金表に定める利用運送に係る手数料を取ります。
- 三 特別な手配を要する利用運送を行う場合は、前項の規定にかかわらず、別途見積もつた手数料を受取します。
- 四 第一項の通知を行わなかつた運送について、当店の責任により利用運送を行う場合があります。この場合において、利用運送に係る手数料は取られません。

第三節 積付け

(積付け)

- 第十八条 貨物の積付けは、当店の責任においてこれを行います。
- 一 シート、ロープ、建木、白木、充てん物その他積付用品は、通常貨物自動車運送事業者が備えているものを除き、荷送人又は荷受人の負担とします。

第四節 (受取及び引渡し)

- 第十九条 当店は、運送申込書に記載され、又は通知された集積先又は発送地において荷送人又は荷送人の指定する者が貨物を受取り、運送申込書に記載された配送先又は到着地において荷受人又は荷受人の指定する者に貨物を引き渡します。
- 一 (管理者等に対する引渡し)
- 第二十条 当店は、次の各号に掲げる場合には、当該各号に掲げる者に対する貨物の引渡しをもって荷受人に対する引渡しとみなします。
- 一 荷受人が引渡先不在の場合には、その引渡先における同居者、従業員又はこれに準ずる者
- 二 船舶、寄居倉、旅館等が引渡先の場合には、その管理者又はこれに準ずる者

(留置権の行使)

- 第二十一条 貨物に關し受け取るべき運賃、料金等又は品代金等の支払を受けなければ、当該貨物の引渡しをしないものとします。
- 一 商人である荷送人が、その営業のために当店と締結した運送契約について、運賃、料金等を所定期日までに支払わなかつたときは、当店は、その支払を受けなければ、当該荷送人との運送契約によつて当店が占有する荷送人所有の貨物の引渡しをしないことがあります。

(指図の催告)

- 第二十二条 当店は、荷受人を確知することができない場合は、遅滞なく、荷送人に対し、相当の期間を定め貨物の処分につき指図すべきことを催告することがあります。
- 一 当店は、荷受人が、貨物の受取を拒み、又はその理由によりこれを受け取ることができない場合に、遅滞なく、荷受人に対し、相当の期間を定め、その貨物の受取を催告し、その期間経過後の後、さらに、荷送人に対し、前項に規定する指図と同じ内容の催告をすることがあります。

(引渡不能の貨物の寄託)

- 第二十三条 当店は、荷受人を確知することができない場合又は前条第二項の場合には、荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫営業者に寄託することがあります。場合又は前条第二項の場合には、荷受人の費用をもち、前項の規定により貨物の寄託をしたときは、遅滞なく、その旨を荷送人又は荷受人に対して通知します。
- 二 当店は、前項の規定により貨物の寄託をしたときは、遅滞なく、その旨を荷送人又は荷受人に対して通知します。

(引渡不能の貨物の販売)

- 第二十四条 当店は、荷受人を確知することができない場合又は第二十一条第二項の場合には、その貨物を指図をしないときは、その貨物を販売することがあります。
- 一 前項の規定にかかわらず、指図その他の事由による低劣のおそれがある貨物は、第二十一条の催告をしないで販売することがあります。
- 二 当店は、前二項の規定により貨物の販売をしたときは、遅滞なく、その旨を荷送人又は荷受人に対して通知します。
- 三 当店は、第一項又は第二項の規定により貨物の販売をしたときは、その代価の全部又は一部を運賃、料金等並びに指図の請求及び販売に要した費用に充當し、不足があるときは、荷送人にその支払を請求し、余利があるときは、これを荷送人に交付し、又は供託します。

(引渡不能の貨物の任意売却)

- 第二十五条 当店は、荷受人を確知することができない場合又は第二十一条第二項の場合において、その貨物が腐敗又は変質しやすいものであつて、第二十一条の手続をとるにやむを得ないときは、その手続によらず、公正な第三者を立ち会わせて、これを売却することがあります。
- 一 前項の規定による売却は、前条第三項及び第四項の規定を準用します。

第五節 指 図

(貨物の処分権)

- 第二十七条 荷送人は、当店に対し、貨物の運送の中止、返送、転送その他の処分につき指図をすることがあります。
- 一 前項に規定する荷送人の権利は、貨物が到着地に到着した場合において、荷受人が貨物の引渡し又はその損害賠償の請求をしたときは、行使することができません。

I 距離制運賃表

中部運輸局

(単位：円)

車種別 キロ程	小型車 (2 tクラス)	中型車 (4 tクラス)	大型車 (10 tクラス)	トレーラー (20 tクラス)
10km	14,550	16,770	21,550	27,550
20km	16,360	18,880	24,460	31,480
30km	18,170	20,990	27,370	35,420
40km	19,980	23,100	30,280	39,360
50km	21,790	25,210	33,200	43,300
60km	23,600	27,320	36,110	47,240
70km	25,420	29,430	39,020	51,170
80km	27,230	31,540	41,930	55,110
90km	29,040	33,650	44,840	59,050
100km	30,850	35,760	47,750	62,990
110km	32,660	37,830	50,580	66,790
120km	34,460	39,910	53,400	70,590
130km	36,270	41,990	56,220	74,390
140km	38,080	44,070	59,040	78,190
150km	39,880	46,150	61,870	81,990
160km	41,690	48,220	64,690	85,790
170km	43,490	50,300	67,510	89,600
180km	45,300	52,380	70,330	93,400
190km	47,100	54,460	73,160	97,200
200km	48,910	56,530	75,980	101,000
200kmを超えて500km まで20kmを増すごと に加算する金額	3,600	4,120	5,560	7,480
500kmを超えて50km を増すごとに加算す る金額	8,990	10,300	13,910	18,700

II 時間制運賃表

(単位:円)

種 別			車種別	小型車 (2tクラス)	中型車 (4tクラス)	大型車 (10tクラス)	トレーラー (20tクラス)
			局 別				
基 礎 額	8 時 間 制	基礎走行キロ 小型車は100km 小型車以外のもの 130km	北海道	33,250	39,840	53,240	68,890
			東北	33,160	39,880	52,610	68,440
			関東	39,380	46,640	60,090	76,840
			北陸信越	34,630	41,160	54,400	70,020
			中部	36,390	43,230	56,440	73,120
			近畿	37,640	43,920	57,690	73,970
			中国	34,740	41,760	55,200	70,430
			四国	33,140	40,640	53,870	69,470
			九州	33,770	40,740	53,860	69,700
	沖縄	31,310	37,550	50,420	66,390		
	4 時 間 制	基礎走行キロ 小型車は50km 小型車以外のもの 60km	北海道	19,950	23,900	31,940	41,330
			東北	19,900	23,930	31,570	41,060
			関東	23,630	27,980	36,050	46,100
			北陸信越	20,780	24,700	32,640	42,010
			中部	21,830	25,940	33,860	43,870
			近畿	22,580	26,350	34,610	44,380
			中国	20,840	25,060	33,120	42,260
			四国	19,880	24,380	32,320	41,680
九州			20,260	24,440	32,320	41,820	
沖縄	18,790	22,530	30,250	39,830			
加 算 額	基礎走行キロを超える場合 は、10kmを増すごとに	北海道	350	410	630	930	
		東北	340	410	630	920	
		関東	350	410	630	930	
		北陸信越	340	410	630	920	
		中部	340	410	630	920	
		近畿	340	410	630	920	
		中国	340	410	630	920	
		四国	340	410	630	920	
		九州	340	400	630	920	
	沖縄	340	410	630	920		
	基礎作業時間を超える場合 は、1時間を増すごとに (4時間制の場合であつ て、午前から午後にわたる 場合は、正午から起算した 時間により加算額を計算す る。)	北海道	2,790	2,930	3,150	3,700	
		東北	2,780	2,910	3,130	3,680	
		関東	3,710	3,890	4,180	4,920	
		北陸信越	2,990	3,140	3,380	3,970	
		中部	3,310	3,480	3,740	4,400	
		近畿	3,430	3,600	3,870	4,550	
		中国	3,060	3,210	3,450	4,060	
		四国	2,890	3,030	3,260	3,830	
九州		2,940	3,090	3,320	3,900		
沖縄	2,550	2,680	2,880	3,380			

I.労働者派遣法にもとづくマージン率の公開

派遣労働者の数 1 名 派遣先 1 件

派遣料金平均額 (8 時間あたり) 22,400 円

派遣労働者平均賃金 (8 時間あたり) 12,800 円

マージン率 42.9%

※マージンには以下の費用が含まれております。

教育関連費用、福利厚生費、社会保険料、年次有給休暇時の人件費

その他、事業運営費用

II.派遣労働者のキャリア形成支援制度に関する事項（主たる訓練内容）

訓練種別

・ 採用時：新規採用者訓練（ON-JT）

・ 派遣中：安全運転訓練（ON-JT）スキルアップ研修（OFF-JT もしくは ON-JT）

※いずれも無償訓練かつ訓練期間は有給

III.労使協定を締結しているか否かの別

労使協定の有無 : 有

労使協定の範囲 : 正社員

労使協定の有効期間の終期 : 2026 年 3 月 31 日